

裾野市立東小学校

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年8月30日(火)



「体験後も、もっと作りたいと話していました。」

裾野市立東小学校の6年生99人が、古墳時代の人々の暮らしを体験的に学ぶ目的で、勾玉作り体験を行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話

静岡県埋蔵文化財センターでは、裾野東小学校周辺での発掘調査を行っていないため、近隣の長泉町の古墳調査で出土した金属製品の話をしました。また、保存処理の話もしましたが、集中して聞いていました。



勾玉作り体験

・「削るのが大変だったけど、うまくできて良かった。」

はじめに、勾玉の形が、何に見えるか考えました。月に似ているとか、獣の牙に似ているなどの意見が出ました。そこで、世界的に見ても類を見ない日本独自の物であることや、動物の牙や胎児、月などに似ていることを簡単に説明しました。また、古代人も現代人と同じように装飾品（ペンダントや耳飾り、腕輪など）を身につけていて、おしゃれだったことも話しました。



次はいよいよ勾玉作りです。

100人近くの大勢が一斉に勾玉を作るのは、あまりないことで多少不安がありました。また、今回は、あまり削ってない滑石を彫刻刀で形作るところから始めたので、どうなることかと思っていました。子どもたちは、削りすぎではいけないので、慎重に削っていきますが、慎重になりすぎて、なかなか進みません。

・「どれだけ削れば良いのかわからなかったけど、きれいにできてよかった。」

・「初めて作ってみて、削るのが大変だったけど、貴重な体験ができて良かった。」

大まかな形に削ったところで、1番粗い紙やすりで、自分がイメージした形ができるまで削りました。次に、2番目に粗い紙やすりで削って、キズを取っていきました。紙やすりを丸めたり、石を包むように磨いたりして、石のキズを取ろうと夢中になっていました。最後に、細かい耐水ペーパーに水を付けて、勾玉の表面がつるつるになるまで磨きました。ひもの結び方が難しいため、ひもはこちらで結び完成しました。



「彫刻刀で慎重に削っていたね。形ができてうれしそうでした。」

渡邊先生の感想

「今までにない人数の多さの中でも、一人一人に丁寧に説明、対応してくださり、ありがとうございました。本当は、6月に人気メニューの4つの体験を行いたかったのですが、予約ができなかったので、今回勾玉作り体験をお願いしました。古墳時代の人々の暮らしが少しわかり、ねらいに沿う授業で、とても良かったです。」

